

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成28年4月～6月期実績、平成28年7月～9月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### 「売上額」「資金繰り」の指標が好転

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが $\Delta 19.0$ 、資金繰りD Iが $\Delta 7.3$ となり、対前期比でそれぞれ1.0ポイント、5.2ポイント好転した。採算D Iは $\Delta 17.6$ となり、対前期比で3.9ポイント低下し、2期連続の減少となった。































次期は、売上額D I、採算D Iともほぼ横ばいの見通しである。

業種別では、製造業、建設業ですべての指標が好転したが、小売業、サービス業は売上額D I、採算D Iが悪化した。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 19.0$ （対前期比 1.0 好転） 次期予想  $\Delta 19.1$ （対前期比  $\Delta 0.1$  悪化）
- ・採算D I  $\Delta 17.6$ （対前期比  $\Delta 3.9$  低下） 次期予想  $\Delta 16.8$ （対前期比 0.8 好転）
- ・資金繰りD I  $\Delta 7.3$ （対前期比 5.2 好転） 次期予想  $\Delta 13.5$ （対前期比  $\Delta 6.2$  悪化）

### 産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年7月～9月		$\Delta 19.3$ 		$\Delta 21.0$ 		$\Delta 11.5$ 
27年10月～12月		$\Delta 13.8$ 		$\Delta 12.6$ 		$\Delta 10.4$ 
28年1月～3月		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 13.7$ 		$\Delta 12.5$ 
28年4月～6月		$\Delta 19.0$ 		$\Delta 17.6$ 		$\Delta 7.3$ 
28年7月～9月 （見通し）		$\Delta 19.1$ 		$\Delta 16.8$ 		$\Delta 13.5$ 

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業はすべての指標が好転

製造業では、売上額D Iが△16.7、採算D Iが△18.2、資金繰りD Iが2.8となり、対前期比でそれぞれ12.7ポイント、3.0ポイント、11.7ポイントすべての指標で好転した。
















前期は、すべての指標が悪化したが、今期は、売上額D I、資金繰りD Iが2ケタ回復し、資金繰りD Iは平成27年4～6月期以来のプラスに転じた。

次期は、売上額D I、採算D Iの上昇が見込まれるが、資金繰りD Iは悪化する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △16.7 (対前期比 12.7 好転) 次期予想 △16.6 (対前期比 0.1 上昇)
- ・採算D I △18.2 (対前期比 3.0 好転) 次期予想 △17.6 (対前期比 0.6 上昇)
- ・資金繰りD I 2.8 (対前期比 11.7 好転) 次期予想 △8.6 (対前期比 △11.4 悪化)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年 7月～9月		△31.4 ↓		△20.6 ↓		△5.9 ↓
27年 10月～12月		△8.6 ↑		△11.5 ↑		△5.7 ↑
28年 1月～3月		△29.4 ↓		△21.2 ↓		△8.9 ↓
28年 4月～6月		△16.7 ↑		△18.2 ↑		2.8 ↑
28年 7月～9月 (見通し)		△16.6 ↑		△17.6 ↑		△8.6 ↓

## (2) 建設業

### 建設業もすべての指標が好転

建設業では、売上額D Iが△4.2、採算D Iが△20.8、資金繰りD Iが12.5となり、対前期比でそれぞれ17.6ポイント、0.1ポイント、12.5ポイントすべての指標で上昇、好転した。売上額D I、資金繰りD Iが2ケタ回復した。































売上額D Iは、平成27年4月～6月期の△37.5を底に回復傾向にあり、採算D Iも3期連続で上昇している。

次期は、採算D Iは大幅な上昇が見込まれるが、売上額D I、資金繰りD Iは悪化に転じる見通しである。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △4.2 (対前期比 17.6 好転) 次期予想 △8.4 (対前期比 △4.2 悪化)
- ・採算D I △20.8 (対前期比 0.1 上昇) 次期予想 0.0 (対前期比 20.8 上昇)
- ・資金繰りD I △12.5 (対前期比 12.5 好転) 次期予想 △16.6 (対前期比 △4.1 悪化)

### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年7月～9月		△29.1 		△52.2 		△34.8 
27年10月～12月		△21.8 		△26.1 		△22.8 
28年1月～3月		△21.8 		△20.9 		△25.0 
28年4月～6月		△4.2 		△20.8 		△12.5 
28年7月～9月 (見通し)		△8.4 		0.0 		△16.6 

### (3) 小売業

#### 小売業は売上額D I、採算D Iが2期連続で低下































小売業では、売上額D Iが△42.8、採算D Iが△24.5となり、対前期比でそれぞれ7.4ポイント、6.2ポイント低下した。資金繰りD Iは△14.3となり、4.0ポイント好転した。売上額D Iと採算D Iは2期連続の低下であり、資金繰りD Iは3期ぶりに回復した。

次期は、採算D I、資金繰りD Iは低下、悪化が見込まれるが、売上額D Iは大幅に改善する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △42.8 (対前期比 △7.4 低下) 次期予想 △31.3 (対前期比 11.5 好転)
- ・採算D I △24.5 (対前期比 △6.2 低下) 次期予想 △28.3 (対前期比 △3.8 低下)
- ・資金繰りD I △14.3 (対前期比 4.0 好転) 次期予想 △18.8 (対前期比 △4.5 悪化)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年 7月～9月		△22.5 		△15.2 		△14.3 
27年 10月～12月		△22.4 		△12.2 		△16.3 
28年 1月～3月		△35.4 		△18.3 		△18.3 
28年 4月～6月		△42.8 		△24.5 		△14.3 
28年 7月～9月 (見通し)		△31.3 		△28.3 		△18.8 

## (4) サービス業

### サービス業は売上額D I、採算D Iが悪化

サービス業では、売上額D Iが△8.6、採算D Iが△11.5となり、対前期比でそれぞれ4.3ポイント、7.3ポイント悪化した。資金繰りD Iは△5.7となり、ほぼ横ばいであった。































売上額D Iは、平成27年4～6月期の△11.6から回復傾向にあったが、1年ぶりに悪化に転じた。

次期は、すべての指標が悪化する見通しで、状況は厳しい。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I   △8.6 (対前期比   △4.3 悪化)   次期予想   △15.7 (対前期比   △7.1 低下)
- ・採算D I    △11.5 (対前期比   △7.3 悪化)   次期予想   △14.5 (対前期比   △3.0 低下)
- ・資金繰りD I   △5.7 (対前期比    0.1 好転)   次期予想   △11.4 (対前期比   △5.7 悪化)

### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年7月～9月		△7.4 		△14.7 		△4.4 
27年10月～12月		△7.4 		△8.9 		△4.4 
28年1月～3月		△4.3 		△4.2 		△5.8 
28年4月～6月		△8.6 		△11.5 		△5.7 
28年7月～9月 (見通し)		△15.7 		△14.5 		△11.4 

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.6%	生産設備	2.8%	車両運搬具
建設業	16.7%	建設機械、車両運搬具	0.0%	
小売業	18.4%	販売設備、車両運搬具、 OA機器、その他	4.3%	販売設備、その他
サービス業	2.9%	付帯施設、福利厚生施設、 その他	5.8%	サービス、付帯施設、 その他

### 4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	37.9%
	2位	製品（加工）単価の低下、上昇難	24.1%
	3位	従業員の確保難	13.8%
建設業	1位	大企業の進出による競争の激化	23.8%
		材料価格の上昇	
	3位	請負単価の低下、上昇難	14.3%
		官公需要の停滞	
		民間需要の停滞	
小売業	1位	需要の停滞	26.7%
	2位	購買力の他地域への流出	15.6%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	13.3%
消費者ニーズの変化			
サービス業	1位	需要の停滞	39.0%
	2位	店舗施設の狭隘・老朽化	13.6%
	3位	利用者ニーズの変化	10.2%

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

平成28年4月から6月の第1四半期を対象とし、調査時点は平成28年6月1日。






### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業36企業、建設業24企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成28年7月11日作成  
愛知県商工会連合会 指導課  
TEL : 052-562-0040